

リフレクティブ・フォスタリング・プログラム： 里親支援のためのメンタライジング・アプローチ

参加費無料

通訳あり

リフレクティブ・フォスタリング・プログラムは、英国 Anna Freud National Centre for Children and Families で開発された4-11歳の子どもを養育する里親の支援を目的としたプログラムです。里親が自身の気持ちに気づき(メンタライジングできるようになり)、支援者からケアされることを通して、子どもをケアしやすくなることを目指しています。

この度、早稲田大学社会的養育研究所主催のもと、ニック・ミッジリー博士による講演会を開催いたします。講演では、リフレクティブ・フォスタリング・プログラムやその基礎となるメンタライジング・アプローチの考え方についてご紹介いただき、日本の里親支援について、会場の皆様と共に考えます。

開催概要

日時：2024年9月14日(土) 13時30分～16時30分(13:10開場)

会場：早稲田大学リサーチイノベーションセンター 121号館BF1階 コマツ100周年記念ホール

対象：社会的養護に関わる支援者・養育者・研究者・学生・またはこの分野にご興味のある方

講師：ニック・ミッジリー (Nick Midgley, Ph.D)

児童・青年期心理療法士。ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン 臨床教育健康心理学研究部門教授。アンナフロイト/ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン：子どものアタッチメントと心理療法研究ユニット(ChAPTRe)のコーディネーター。



お申し込み・お問い合わせ

以下のグーグルフォームまたは右の二次元コードより事前のお申し込みをお願いいたします。

<https://forms.gle/tjfg8BwNSTuZV99v7>

※グーグルフォームでの送信が難しい場合、waseda.ricsc@gmail.com まで、氏名・ご所属・ご職業・ご連絡先を明記の上、メールでお申し込みください。



参加申込締切：2024年9月1日(日) 午前10:00まで

【お問い合わせ】早稲田大学社会的養育研究所(担当：那須)

Email: waseda.ricsc@gmail.com